

手取川下流域における水質調査について

白山市内の地下水から国の指針値を超過した PFOS 及び PFOA が検出されたことを踏まえて、金沢河川国道事務所において手取川下流域の5地点の水質調査を行った結果、1地点（西川合流点付近）で、PFOS 及び PFOA の合算値が、国の公共用水域の指針値※を超過したことが確認されました。

これを受けて、石川県では PFOS 及び PFOA の汚染状況を把握するため、西川（指針値超過地点の上流）において水質調査を実施する予定です。

※ 国の公共用水域の指針値

- ・PFOS 及び PFOA の合算値 50 ng/L 以下（ng（ナノグラム）は10億分の1グラムを表す単位）
- ・指針値は、体重 50kg の人が水を一生涯にわたって毎日 2L 飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと推定されるレベル

記

○金沢河川国道事務所による調査結果

（単位：ng/L）

調査地点	PFOS 及び PFOA 合算値	参考	
		PFOS	PFOA
①美川大橋	5 未満	2.5 未満	2.5 未満
②川北能美大橋	5 未満	2.5 未満	2.5 未満
③西川（合流点付近）	83	13	70
④熊田川（合流点付近）	6.1	3.2	2.9
⑤ふれあい水路（合流点付近）	22	10	12

※ 令和8年2月18日採水

(参考)

PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）・PFOA（ペルフルオロオクタン酸）について

- ・有機フッ素化合物の一種であり PFOS については、半導体用反射防止剤・レジスト、金属メッキ処理剤、泡消火薬剤などに、PFOA については、フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤などに主に使われてきました。
- ・現在は、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）」に基づき製造・輸入等を原則禁止しています（PFOS は 2010 年、PFOA は 2021 年）
- ・健康への影響について、コレステロール値の上昇、発がん、免疫等との関連が報告されていますが、どの程度の量が身体に入ると影響がでるのかについては十分な知見はありません。国内において、PFOS、PFOA の摂取が主たる要因とされる健康被害が発生したという事例は確認されておりません。
- ・環境省は、令和 7 年 6 月に、PFOS 及び PFOA について、内閣府食品安全委員会が行った食品健康影響評価の結果等を踏まえ、最新の科学的知見に基づき、水道における「水質基準」を新たに設定し（R8.4.1 施行）、水環境中（公共用水域や地下水）の「指針値（暫定）」を「指針値」に見直しました（いずれも PFOS と PFOA の合算値で 50ng/L 以下）。
- ・これにより、水環境中の指針値超過の対応として、地域の実情に応じて、飲用摂取の防止、継続的な監視調査、汚染範囲の把握等の追加調査等を行うことが期待されます。

環境省「PFASハンドブック」（令和 7 年 12 月）の記載内容をもとに作成

【問合せ先】

今回の水質調査結果に関すること

国土交通省北陸地方整備局

金沢河川国道事務所(河川) 副所長 電話 076-264-8800

西川上流の追加調査に関すること

石川県生活環境部環境政策課

電話 076-225-1491

